

連携先 施設紹介

ナーシングホーム もも桑名

チームワークの良さは天下第一品!

こんにちは、ナーシングホームもも桑名です。もも桑名は、ナーシングホームももの開設当初からの地である東員町から平成24年10月に桑名市に引っ越してきました。看護師7名、理学療法士4名、作業療法士2名、言語聴覚士1名、介護支援専門員1名で活動しています。訪問させてもらっている利用者様は、小児・難病・終末期緩和ケア・慢性疾患・障がいのある方と多岐にわたっています。さまざまな疾患や状態の方に、スタッフ個々の専門性を生かし、持ち前のチームワークの良さで支援にあたらせてもらっています。

今年度は、地域の方が気軽に相談できる場所として、仮称『もも桑名-まちの保健室』の開設を計画しています。訪問看護で培った連携・調整の力を生かし、地域に暮らすすべての方がすこやかに安心して過ごせる街づくりを目標にしています。どうぞお気軽にご相談・お立ち寄りください。

住所：桑名市筒尾一丁目13番地1 電話（FAX）：0594-33-0302



第2回 三重在宅ケア研究会



6月12日、あさけプラザにて第2回三重在宅ケア研究会が行われました。特別講演は「家庭医として在宅医療に関わる」という演題で、福井県のオレンジホームケアクリニックの児玉麻衣子先生にお話いただきました。家庭医療について、オレンジホームケアクリニックの取り組み、学校医としての「命の授業」など、ときおり福井県の名物を混ぜ込みながらの講演で、楽しく勉強させていただきました。また、訪問リハビリ、看護師さんの取り組みをうかがい連携をより強くしていきたいと思いました。

タクティールケア



5月21日、バイブレショナルセラピストの高畷ゆかりさんに、タクティールケアの講習をしていただきました。「タクティール」とはラテン語で“触れる”という意味です。患者さんの手足や背中などに優しく“触れる”ことで脳よりオキシトシンというホルモンが分泌され、患者さんの痛みや不安を和らげる効果があるとされています。最近では全国の施設等で取り入れられています。今回の講習では当院のスタッフもその効果を実感し、今後のケアでも“触れる”ことを意識していきたいと思いました。

【発行・編集】

医療法人SIRIUS いしが在宅ケアクリニック

〒512-8048 四日市市山城町 770 番 2

TEL : (059) 336-2404

FAX : (059) 336-2405

http://www.ishiga-cl.com

いしが在宅

検索



いしが在宅ケアクリニックNEWS

平成 26 年
夏号
vol.6

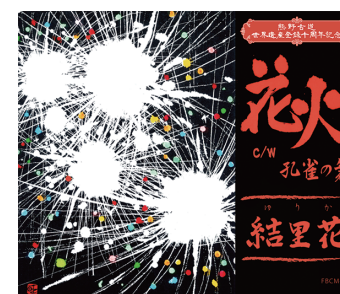
祝5周年!!



暑い季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。当院もご支援いただく皆様のおかげで、無事5周年を迎えることができました。開院当初はスタッフ5名（医師1名、看護師2名、医療秘書2名）での小さな船出でした。思い返せば様々な問題や困難もございましたが、今となっては良い思い出ばかりです。地域の皆様、各病院様、そして訪問看護ステーションを中心とした多職種の皆様に支えられ本当に感謝しております。当院のチームZAITAKUはまだまだ未熟ですが、地域によって経験を積ませていただき日々成長させていただいております。そして現在25名の仲間にも囲まれ、支えられ、働くことができていることに日々幸せを感じております。そして当院の使命である在宅医療の普及および質の高い在宅ケアの提供にはまだ多くの課題がございますが、これからもスタッフ一丸となり地域医療に貢献できればと思っております。これからも当院の活動に温かいご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

院長 石賀 丈士

三重に生まれ育ち、三重に住み、三重を愛する私、 結里花（ゆりか）が全国デビュー曲『花火』をお届けします



いつもお世話になります。いしが在宅ケアクリニック非常勤医師の矢原です。先月6月25日に、『結里花』の名前で、CDデビューを致しました。熊野灘の華麗な夏の花火が目浮かぶ歌詞を書いてくださったのは、ちあきなおみさんの「喝采」でレコード大賞を受賞された吉田旺先生。カップリングは「熊野古道世界遺産登録10周年記念」をお祝いした『孔雀の舞』という曲です。8月17日の熊野花火大会で歌唱させていただく予定です。医師を続けながらの歌手活動です。皆様に親しんで頂けますよう祈りをこめ、頑張ります。応援どうぞよろしくお願い申し上げます。